

★*.....*★

メールマガジンで語り伝える

「今を生きるスターリマンの物語」～感謝の風船ラブレター～

2014.09.19 vol.35

★*.....*★

☆ご あ い さ つ☆

皆様、お変わりございませんか？

本日19日から26日まで秋のお彼岸ですね。

中日となる秋分の日23日は祝日です。

祖先を敬い、亡くなった人の魂を偲ぶ日になっています。

私たちもご祖先様のお墓参りに出かける予定です。

皆様もお出かけになってはいかかですか？

さて、本日より第12話として、

株式会社ウエダ本社 代表取締役社長 岡村充泰氏の

「今を生きるスターリマンの物語」を

お送りさせていただきます。

それでは、最後までお楽しみいただくと嬉しいです。

☆第12話 「今を生きるスターリマンの物語」

京都の誇りと新たな価値観を世に広める

株式会社ウエダ本社 代表取締役社長 岡村 充泰 氏

第1章 ～岡村 充泰 氏 との出会い～

岡村充泰氏との出会いは、2011年7月。

大久保寛司氏からご縁をいただき、

『京都流議定書』というイベントの中で、

祐希が朗読をさせていただいた事がきっかけでした。

京都流議定書 <http://kyotostyle.jp/#top>

この『京都流議定書』は、日本の縮図ともいえる京都独自の文化や価値観を再認識し、そこから新たな可能性を生み出すことを目的に2008年から毎年7月に行われているイベントで、その実行委員会の中核を岡村氏が担っています。

3日間、京都の伝統文化の伝承者や企業の経営者、京都の未来を担う若者たちなどが次々に登壇し、会場は日本各地から駆けつけた参加者の熱気で溢れます。

イベント終了後、祐希から届いたメールがいつになく興奮気味で、岡村氏が色々とお話してくださったおかげで楽しむ事が出来たと聞き、どんなに素晴らしい時間であったかが、文面から伝わってきました。そして、いつか私たちもお目にかかれたらと願っておりました。

それから約半年後の2012年1月。私と夫は、長野の善光寺で行われた高野登氏の百年塾新春談話会で岡村氏とお会いする事が出来ました。

私たちは、岡村氏の紳士的でやさしいお人柄に好感を持ちました。夫は、中学校の修学旅行以来、京都に行った事がなく、憧れの京都の方と素敵なお縁がただけて、とても喜んでいました。

その年の11月5日に一般社団法人を設立し、12月23日に都内で設立記念パーティーを行った際は、はるばる京都からご参加いただいて、温かな応援のお気持ちに感謝でいっぱいになりました。

テラ・ルネッサンスの鬼丸氏をはじめ、京都を拠点に活躍している若手社会起業家の応援や、未来を見据えたまちづくりを積極的に行っている岡村氏。

その情熱はどこから湧いてくるのだろうと、是非いつかお話をお聴きしたいと思っていた所、2013年12月に活動の途中に京都を訪れた際、岡村氏にご連絡させていただいた所、幸運にもお時間を空けていただける事になりました。

突然の訪問を快く承諾してくださった上に、岡村氏が代表取締役社長を務める「ウエダ本社」の社内を丁寧にご案内いただき、自社ビルのテナントに入っているカフェで美味しいランチまでご馳走になってしまいました。

株式会社ウエダ本社 <http://www.ueda-h.co.jp/>

岡村氏とのお話の中で、京都に対する誇りと京都に生まれたご自身の使命のようなものを深く受け止めていらっしゃる事を感じて、今度、京都にお伺いさせていただく時には、「今を生きるスターリイマンの物語」のインタビューをさせていただくお約束をしました。

岡村氏によってつながった新たなご縁やそこから生まれた価値観や創造的事業によって、今、豊かな輪が着実に広がりつつあります。

京都から日本の未来を輝かす風船を届けている岡村氏の事をもっと多くの方々に事を知っていただきたいと心から願っています。

「今を生きるスターリイマンの物語」
☆第12話の第2章は、9月29日(月)配信予定です！

岡村充泰氏との出会いはいかがだったでしょうか？

このメールマガジンでご紹介させていただいた大久保寛司氏や高野登氏、渡邊幸義氏などスターリイマンの皆様とのご縁から岡村氏と出会い、日本人としての価値観を京都から変えていこうという熱き志にとっても共感致しました。

世界に誇れる京都の素晴らしさを少しでもスターリイマンの作品で表現し、世界中の人々にお伝えできたらと願ひまして、はせがわは、京都を題材にした作品を4点描く構想を立ててるそうです。

しかも、今まで描いたことのない大きさに挑戦するそうですが、モネの睡蓮のようになったらと、私はとっても楽しみにしています。

それでは、今回は第12話の第2章をお送り致します。
配信は、9月29日(月)です。
皆様、どうぞお楽しみにお待ちください☆

☆後 記☆

明日の9月20日（土）は都民ホールにて、
「通信制サポート校・東京ネットワークフェスタ2014」
～観て、見て、僕らの宝物！～の舞台発表に
私たちも出演させていただきます。

是非、参加校の生徒の皆さんの発表を、
と一緒に観て、聴いていただけたら嬉しく思っております。
ご来場をお待ちしております。

また、私事となりますが、27日（土）～29日（月）は、
暦作家の井上象英先生と共に、28日に行われる
「孔子誕辰2564周年釋奠」に参列させていただく事になりました。
孔家ご一家との懇親会も予定されているそうです。

論語普及会の顧問でいらっしゃる井上象英先生とは、
致知出版の新春講演会にて初めてお会いさせていただき、
この度のようなご縁をいただけて本当に光栄なことと
心から感謝でいっぱいです。

それでは、すでに沖縄では台風16号の影響が
少しずつ出始めているようですので、
皆様どうかお気をつけて素敵な週末をお過ごしくださいね。

はせがわ芳見

発信元：はせがわ芳見
〒330-0851 埼玉県さいたま市大宮区櫛引町1-422-2
TEL/FAX：048-671-7708
HP： <http://www.dream-hasegawa.com>
blog： <http://starryman.cocolog-nifty.com/blog/>

★*.....*★

メールマガジンで語り伝える

「今を生きるスターリィマンの物語」～感謝の風船ラブレター～

2014.09.29 vol.36

★*.....*★

☆ご あ い さ つ☆

皆様、お変わりございませんか？

例年よりも早く金木犀が咲き、
すっかり秋の気配ですね。

さて、前回の配信でお伝えさせていただきましたが、
私は27日より本日まで台湾におります。

そのため、本日のメールマガジンは、
事前に書かせていただいた内容になっております。
予めご了承くださいと幸いです。

是非、どんな感動の旅となったのか、
またご報告させていただけたら嬉しく思っています。

それでは、本格的な秋を迎える今、
一度は訪れてみたい思う京都が故郷の
株式会社ウエダ本社 代表取締役社長
岡村充泰氏の家族の原風景をお送りします。

是非、最後までお楽しみいただけると嬉しいです。

☆第12話「今を生きるスターリィマンの物語」

京都の誇りと新たな価値観を世に広める

株式会社ウエダ本社 代表取締役社長 岡村 充泰 氏

第2章 ～岡村充泰氏の家族の原風景～

Q1. ご家族のことを教えてください。

私は、父の岡村博と、母の千恵子の三男として、昭和38年8月30日に京都で生まれました。卯年の乙女座です。

本当は三人兄弟で、10歳上の長男と、7歳違いの次男がいたのですが、私が生まれる前に長男は亡くなりまして。私は、長男の生まれ変わりと言われて、生まれたそうです。

兄とは7つ違いだったので、一緒に遊ぶということはなかったです。私と兄は、すべてのことで真逆なタイプですね。

現在、私には妻と高1と小6の男の子がいます。

Q2. お父様とお母様のことを教えてください。

父は、大正7年5月6日に、岡村家の7人兄妹の6番目として生まれました。戦争にも行っていまして、陸軍の戦車隊の無線担当をしていたそうです。フィリピンで終戦を迎えて、捕虜にもなったそうです。

父のお父さん、お祖父さんは岡村楽山と言う人で、私の父が20歳ぐらいの時に亡くなったのですがその時、お祖父さんはどうやら散財していたらしいという事を知りました。

自宅も借金で人手に渡っていたりしていたそうなので、岡村家のことは、あまり父親から聞いたことがなかったですね。お墓も小さい時に、何度か行ったくらいでした。

ある時、お祖父さんは、茶の木人形の人形師だったと言うことを、人形を研究している人から聞いて知ったんです。

「通圓」という800年以前から続いている宇治川の茶店で以前販売されていた事は聞いていましたので、そこに話を聞きに伺ったことがありました。

茶店には、岡村家にもないような岡村楽山の作品がごろごろあって、お祖父さんの天皇謁見（当時の皇后さまがお買い求めになった）のお品も、しばらく通圓さんに飾られていたそうです。

母の千恵子は、昭和元年12月25日に生まれました。
ウエダ本社の創設者・上田安則は、
最初の夫と死別した私の祖母の中西トクが再婚した相手で、
長女だった母は幼少の頃から会社を手伝っていたそうです。

今は、事務機のウエダということで知られるようになりましたが、
元々は文房具の卸で、時代の流れを感じとったお祖父ちゃんが、
これからはコンピューターとか機械の方に行かないと
ということで段々と機械の方に移って行ったそうです。

実は、母が亡くなる1年前に、たまたま母から聞いたのですが、
父と母は創業者の上田安則から、結婚を反対されていたそうです。

しかし、母と付き合っていた父が戦車隊の無線をやっている事が分かり、
一転、結婚しろと言うことになって、父と母は結婚したそうです。

お祖父ちゃんは、お金の使い方がすべて活き金で、
身内からはこんなにケチと思われていても、
周りの人から聞くのはいつも気前が良いという言葉でした。

Q3. 子どもの頃のことを教えてください。

私は、ウエダ本社があるこの近くで生まれて、
当時、ビルの中に自宅があったのですが、
幼稚園に入る前までそこに住んでいました。

街の中だったのと自社ビルの4階に住んでいたのも、
友達もなくて、会社の女子社員が遊び相手でした。
なので幼稚園に行くまで、同世代の子供と遊んだことがなかったんです。

それから、幼稚園に入る前に、山科に越しました。
山科はとても自然が多かったので、野山を駆け巡って遊んでいました。

初めて、母に連れられて幼稚園に行った日のことを、今もよく覚えています。
母親が帰って行く姿をずっと窓から見ていて、「置いて行かれた」と思いましたね。
すぐに慣れて遊んだと思うんですがね。

小学校1年時、担任の先生に授業中にしゃべっているのを見つかり、
前に出させられて「もうしゃべらへんか」と言ってほっぺたをつねられるんですが、
「もうしゃべらへん」と言ったら帰してもらえます。

ある時、朝始まって1時間目に注意を受けて。
朝の1時間目なのにしゃべりませんなんてありえないと思って、
しゃべれませんかと言ったら、きれいごとになってしまうので、
1時間ずつつねられっぱなしでした。

その頃から、私はきれいごとが嫌で、その時だけ良い事を言うのが嫌だったんです。
一時間終了のベルが鳴って終わった時に、クラスみんなから拍手もらいました。

創業者の上田安則は、昔から外車に乗っていました。
日本で1台しかないような外車に乗っていて、
父はそのお下がり外車に乗っていて、この外車に乗っているというのが嫌で。

だから、家族で車に乗っている時は、シートの下に隠れて乗っていました。
友達にみられたくない、みたいな。なぜか社長の息子っていう事が嫌でしたね。

小学校2年生の時、先生が授業で
「人間は平等です。社長も大臣も偉いんじゃないんです。
役割が違うだけなんです。」という話を聞いて、いたく感動したんです。

大発見したくらい。そうか！父親に言わなきゃあかんと思って、
夜遅くまで起きて待っていたんです。

そして、今日、先生が話してくれたことを父親に言ったら、
「社長は責任が重いから偉いんだ」と一言で言われて。
この父親とは感覚が合わないと、その頃から思いました。

Q4. 子どもの頃の夢は何でしたか？

小学校の頃から、野球をやっていたので、野球選手になりたいと思っていました。
少年野球で試合に出られるのは、5～6年生だったので、4年生頃から始めました。

小学校の頃は身長が高めだったので、ピッチャーをやっていました。
中学に入り、サードになりました。

中学の時、高校で野球をするか迷った時、高校で野球をするなら、プロを目指そう。
プロを目指さないんだったら野球は辞めようと、自分で判断して中学で野球は辞めました。

高校では、バスケット部に入りました。

ウエダは昔から社会人バスケットチームを持っていて、
会社が大卒を取りたかったので、リクルートのためにバスケットチームを作って、
体育系の大卒者を入っていました。

父親はそんな関係で、京都のバスケット連盟の会長をやっていたりして、
ウエダは京都実業団の中で常に強くて、よく優勝していました。
兄も高校の時はバスケットをしていました。
頑張って、高校ベスト8ぐらいになっていました。

私が高校生になる頃の京都は、公立高校に進学する場合、
住んでいるところで、行く高校が決まっていたんです。
私は、私立の高校にも行ける成績があったのに、
自我が強かったので、行かないと言って公立高校に行きました。

私は、中学までは優秀だったんですが、
高校ではヤンキーの仲間に入っていました。
ヤンキーはきれいごとは言わないし、しなかった。
勉強はしていないよと言いながら、勉強しているでしょ。普通の人は。
でも、ヤンキーはしないと言ったらしないしね。

高校は、休みもいっぱいあるし、授業もさぼりまくりといった
大学のような自由気ままな高校でした。
それで大学に入った時、その反動で大学が面白くなくて、
大学に行かないで、パチンコばかりやっていました。

私は、やる時はとことんやるので、パチプロ状態で、
月30万ぐらい勝って、車を買ったり、
アメリカに1ヶ月とか行ったりしていました。

パチンコは、毎日行かないと勝てないんです。
多くの方は空き時間とか行ったりするじゃないですか、
そういうのは負けるに決まってるんですよ。

1番から500~600台まで、全部頭に入っていて、
だいたいあるパターンがあるんです。毎日コツコツ、確率論ですね。

また、毎日行くと、常連のグループがあって、常連じゃないと
良い台が回ってこない、なんてこともわかってくるんです。

しかも常連には2つのグループの派閥があって、
私はAとBのグループのバランスを見ながら、
それぞれに喜んでもらえるようにコーディネートしたりしていました。

しかし、ギャンブルってバカにできないのは、すごく性格が出るんですよ。
勝てる人ってパターン決まってるね。
負けた時にそこをくよくよしている人は、勝ってる時に止めとけば良かった。
とか言って、熱くなるのもダメなんですね。

「もういいわ、今日は。」と損切ができる。スパッと切り替えられるとか、
そういう性格の人は強いですし、そういう性格の人はビジネスも上手い！

中途半端は嫌いなので、やるんだったらとことんやる。
やらないんだったら最初からやらない。
踏み込むまでやり出したら追求して、結果を出したい。
なんか今に至るような事なのですが、この時に学んでいたんですね。

大学3年になってから、パチンコには興味がなくなって、
それからもう一切やっていないですね。

Q5. 今のお仕事や様々な取組みに至るまでの経緯を教えてください。

私は大学を出てから30歳ぐらいまで、繊維商社に勤めたんです。
繊維商社に入って、30歳で独立して、神戸のマンションを買って結婚をしました。

阪神淡路大震災が起こったのは、結納の翌日だったんです。
買ったマンションは半壊状態で、足場が包まれているマンションで結婚生活でした。
想定外のことがいっぱいありましたね。

もともと私は、子どもの頃から京都が嫌いだったんです。
京都の人は、YES/NOがはっきりしないとか、
言ってることとと思っていることが違う。
関西弁だと「いけず」という。

私も京都はいけずと思っていたので、合わないなあと思って、
神戸の方が開かれているしと思い、神戸に住んでいました。

しかし、今から13~14年前ぐらい前、
家業であるウエダ本社が倒産の危機に陥って、入らざるを得なくなったのです。

ウエダ本社に入ってから、京都のことを知っていくと、
そうではなかったということが色々あって、おもしろいなあと思うようになって。

例えば、伝統とか会社なんかも、規模が大きいからすごいということではなく、ITベンチャーで上場しました、売上何百億です、と短期間でというような価値観よりも、売上げは小さいけれど、何百年続いています。良い素材が入らないから創りません。でもすごいよ。みたいなことが、京都では当たり前だったりするわけです。

売上げが大きい方がいいとか、数字がどうかをよく言われますが、これからの日本って、人口も減って行くわけですから、よくよく考えたら京都は、海外から見たら日本の縮図なんだろうと。

京都を研究することによって、日本のことを研究する。日本の強みはそこのあるんじゃないみたいなことで、京都流に至るのです。こうした売上げで競うことだけではない見方をする京都を研究しようと、ただただ気持ちのままに動いて来ました。

今、ビルのイノベーションとかやっているでしょう。周りからは、岡村さんやっぱり復刻やっているんですねと言われます。岡村の祖父が茶の木人形の復刻をしていたのですからね。

独立創業する時から、金銭欲とかあまり強くないし、名誉欲とかもあまりなくて、物質のマックスが昔から決まっていて、それ以上は何もいらないと思ってて、それ以上は世の中に還元しようと思ってました。

色んな意味でのハンディキャップ（差別的な事も含めて）を解決する事に使いたいなあと。今、ソーシャルという事で、世の中の問題に取り組む様々な人たちと関わっている中で憧れるんです。

自分自身が鬼丸昌也に憧れている。彼のやっている事を見て、ちょっとだけやりたかったなあと自分がある。でも出来ないし、だから夢を託しているんです。人脈とか経験とかをつなげる事で、それで上手くいってくれればと応援しています。

Q6. 岡村さんのスターリイマンは誰ですか？

私の中のスターリイマンは、祖父であり、ウエダ本社創業者の上田安則です。

「今を生きるスターリィマンの物語」
☆第12話の第3章は、10月9日(木)配信予定です！

岡村充泰氏の家族の原風景はいかがだったでしょうか？

以前、日本理化学工業の大山泰弘会長から
「ヒトの教育」という一冊のご本をいただきました。

「ヒトの教育」 (2006年1月10日小学館発行)
著者 井口潔氏 (日本学術振興会井口記念人間科学振興基金)
<http://www.hito-kyoiku.com/book/archives/000149.html>

著者の井口氏は、九州帝国大学医学部を卒業し、
九州大学名誉教授、日本外科学名誉会長、日本癌治療学会名誉会長、
医学博士、理学博士、「ヒトの教育の会」代表など
様々な肩書をお持ちの方です。

ご本の中で、井口先生は、
「文明のための教育」から「ヒトのための教育」の戻らなければならない。
そのためには、我々の祖先の伝統の子育ての中で
ヒトは人間になるための伝承がある、とっておられます。

岡村さんの家族の原風景をまとめさせていただきながら、
この井口先生のお言葉をふと思い出しました。

岡村さんは、お父様、お母様を始め、代々のご先祖様から
生っ粋の京都人としてのDNAを受け継いでいらっしゃるからこそ、
京都らしさの中にある新たな価値観とその可能性を
誰よりも見い出すことが出来るのだと心から思いました。

家族の原風景は、まさにそれぞれのDNAの中で、
確かに受け継がれて私たちはこの世に生まれて来たことを
改めて感じさせていただく貴重なお話でした。

はせがわが、絵画活動30年を機に描きはじめた
「ふるさと日本の心の原風景」の作品と共に、
私自身も、この今を生きるスターリィマンの物語で
それぞれの方の家族の原風景について、
これからも大切に描き、伝えていきたいと思えます。

それでは、次回は第12話の第3章をお送り致します。
配信は、10月9日(木)です。
皆様、どうぞお楽しみにお待ちください☆

☆後 記☆

少し前のことになりますが、9月9日の夜。
メールマガジンを配信するようになって1年目の記念として、
娘から手紙を渡されました。

大好きなママへ いつもありがとう♡

今年の9月9日とっても素晴らしい1日だったね。
「今を生きるスターリイマンの物語」のメールマガジンを
配信するようになってから1年。

とっても大変な作業だから、正直続けられるかなと
心配に思っていました、さすがママ！！
毎回毎回、誠意を持ったスターリイマンの皆様への想いに、
感動&感銘の連続です。始めてくれてありがとう！

今年はママがスターリイマンのお話を書き始めて25年。
そんな中で本当にすごいなあと思うのは、
作品に対するママの真剣な姿勢です。

ずっと自身がないと言っていた
文章やお話を書くということを
ママ自身のお役目としてしっかりと受け取めて、
日々努力している姿が何よりもプロとしての
誇りと責任を表していると思います。

上手とか下手とかではなく、誰にも真似出来ない
その情熱とママにしか表現できない世界観は、
唯一無二なものです。

だからこれからも色々悩み、葛藤しながらも
ママのメッセージをスターリイマンを通して、
世の中に発信してほしいと心から願っています。

娘から、このような手紙をもらい、ただただ必死に
お話を書いてきた25年の歳月を振り返りました。

そして、色々な方へのたくさんのありがとうを思いました。
皆様、本当に本当にありがとうございます。

早いもので、今日も含めて、あと2日で10月に入ります。
先月の8月から今まで、新しい絵本の創作をしたり、
来年のことを思い描きながら、次なる目標を決めました。

来年2015年は、4冊の本を出版します。
もちろん、このメールマガジンで配信させていただいている
「今を生きるスターリマンの物語」も出版したいと考えています。

有り難いことに、メールマガジンを読んでもらっている方々からも
「このメールマガは本にするんですね」と言っていたき、
本当に嬉しくて、すごい励みになっています。

皆様のご期待に応えられるよう、日々学んで行きます。
素晴らしいスターリマンたちと、家族のような温かいきずなでつながって、
みんなが幸せになっていける社会になるために書き続けてまいります。

それでは、実り豊かな10月となりますように…
素敵な毎日をお過ごしくださいね☆

はせがわ芳見

発信元：はせがわ芳見
〒330-0851 埼玉県さいたま市大宮区櫛引町1-422-2
TEL/FAX：048-671-7708
HP：http://www.dream-hasegawa.com
blog：http://starryman.cocolog-nifty.com/blog/

★*.....*★

メールマガジンで語り伝える

「今を生きるスターリイマンの物語」～感謝の風船ラブレター～

2014.10.09 vol.37

★*.....*★

☆ご あ い さ つ☆

皆様、お元気でいらっしゃいますか？

さて、昨夜は「皆既月食」でしたね。
全国的におおむね天候に恵まれ、
きっとご覧になった方も多いと思います。

夕方6時半過ぎ頃から段々と欠けていき、
またゆっくりと満ちてゆく姿を見上げる間、
本当に美しく豊かな時間をいただきました。

そのためか、今朝は何とも言えない
心穏やかな気持ちが広がっていました。

そんな本日は、「今を生きるスターリイマンの物語」
第12話の最終章 株式会社ウエダ本社 代表取締役社長
岡村充泰氏のスターリイマンに宛てた感謝の風船レターを
お送りさせていただきます。

最後までお楽しみいただけると嬉しいです。

☆第12話「今を生きるスターリイマンの物語」

京都の誇りと新たな価値観を世に広める
株式会社ウエダ本社 代表取締役社長 岡村 充泰 氏

第3章 ～岡村 充泰 氏のスターリイマンへの感謝の風船レター～

私の中のスターリィマンは、
祖父であり、ウエダ本社創業者の上田安則です。

私にとっての貴方は、
おじいちゃんという感覚は全くなく、
お正月にお年玉をくれるだけの存在で、
仕事しか興味がなく、身内にはケチで、
遊んでもらった記憶すらありません。

お袋からは、お祖母ちゃんの再婚相手であった貴方の事は、
学校もほどほどに、今のウエダの仕事を手伝わせ、
懐かないお袋にはきつく当たっていた様な話しか聞いていませんでした。

その貴方が心血を注ぎ、
お袋が青春時代も捧げたウエダ本社が、
倒産の危機に陥り、継ぐ前提ではなかった私が、
入らざるを得なくなりました。

ウエダに関わると、貴方の評判が関係各位から大変良い事に驚き、
又、ビジネスについての考え方が、貴方によく似ていると色々な方から言われました。

30歳で起業していたとは言え、個人事務所の経営レベルだった私が、
いきなり、グループでは200名近い社員数の会社の倒産危機に当たるという事で、
八方塞がりの中、誰にも相談できず、必死にやって来ましたが、
その頃に貴方が居てくれたら、どう考えるのか？
相談したかったですし、仕事に対して、生き方について
じっくり話してみたかったです。

ウエダ本社を存続させる事と、皆の行く先を作る事を優先したので、
規模を6分の1にするところからスタートし、潰れない会社にする為に、
身を屈めてここまで展開して来ましたが、
貴方ならどうされていたでしょう？

危機を脱し、借入金無くして、周りを見る余裕が出てくると、
漸く、貴方が築いてきてくれた京都における
繋がりや知名度が、大きな資産であるという事を思える様になり、
それを生かし、ウエダという存在が
世の中にもっと役立つものにしていきたいと思って展開しています。

ウエダがずっと関わって来たオフィス、
成人して以降、殆どの時間を費やす職場の環境を良くする事、
人に注目し、イキイキと働く事ができる世の中を作っていく事、
それがウエダ本社の使命であり、理念だと構築した時、
貴方が30年以上前に作っていた
“宇宙を想え人愛せ”という
社是の深さを思い知らされました。

100周年を迎える際には、その社是に見合う様な、
社会に大きなインパクトを与えながら、
そのベースは“人”であるという会社を作り上げるという事を、
貴方へのメッセージとして送ります。

「今を生きるスターリマンの物語」
☆第13話の第1章は、10月19日(日)配信予定です！

岡村充泰氏のスターリマンへの感謝の風船レターは、
いかがだったでしょうか？

「岡村さんのスターリマンは誰ですか？」
と、インタビューの時にご質問させていただいた時から
岡村氏は、ずっとずっと真剣に考えてくださいました。

そして、最終的にご自身のスターリマンは、
現在、代表取締役を務めるウエダ本社の創設者である
お祖父様だという答えに辿り着かれました。

お祖父様から受け継いだウエダ本社には、
命をつないでくれた大切なお母様の人生も
深く刻まれてきたからこそ、岡村さんの中で
かけがえのない大きな存在になっているのではと、
私は深く感動しました。

ウエダ本社は、もうすぐ100周年を迎えるそうですね。
スターリマンが遺した“宇宙を想え人愛せ”の精神が、
京都の未来をさらに明るく照らす光となり、
ますます高められていく京都の価値が、
日本中、世界中へと発信されることを願い、
これからも心から応援させていただきたいと思います。

それでは、次回から「今を生きるスターリィマンの物語」の第13話をお送りさせていただきます。

第1章の配信は、10月19日(日)です。
皆様、どうぞお楽しみにお待ちください☆

☆後 記☆

先月27日～29日まで、暦作家の井上象英先生と「孔子誕辰2564周年釋奠」に参加させていただくため、台湾に行って参りました。

28日は、午前中に台北の孔子廟にて行われた孔子祭典に出席させていただき、午後は、孔家97代垂長ご夫妻との懇親のため、昼食をご一緒させていただくという、大変素晴らしい経験をさせていただきました。

伊與田覚先生の「論語普及会」の皆様が、40年間もの長きに渡って、台湾とのご交流を重ねてくださった尊い有り難いご縁のおかげです。

これも何かのご縁と思い、私は今月より井上象英先生から論語を学ばせていただく事に決めました。

伊與田先生が日本人にも論語を分かりやすくまとめてくださった仮名論語のご本も論語普及会の目黒副会長よりお送りいただき、早速読み始めています。

この学びが、今後どんな風に、私の人生に、そして、スターリィマンの創作に活かされていくのか私自身もとても楽しみです。

さて、今週末は3連休となりますが、皆様はどのように過ごされますか？

私は、来年2015年のスターリィマンカレンダーに入れる

ミニストーリーの創作に集中する予定です。

今回のカレンダーは、絵もミニストーリーも新しく描きおこしたものになるので、皆様が素敵な一年を過ごしていただけるように心を込めて創作したいと思います。

カレンダーの発売開始は、11月1日ですが、今月中まで先行予約を受け付けています。もし宜しければ、スターリィマンと一緒に輝く2015年をお過ごしいただけたら嬉しいです。

それでは、また台風19号が近づいていますので、どうかお気をつけて3連休をお過ごしくださいませ☆

はせがわ芳見

発信元：はせがわ芳見
〒330-0851 埼玉県さいたま市大宮区櫛引町1-422-2
TEL/FAX：048-671-7708
HP：<http://www.dream-hasegawa.com>
blog：<http://starryman.cocolog-nifty.com/blog/>
